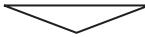
GAUDI

サブディスプレイ機能搭載

デジタルフォトフレーム

取扱説明書

GHV-DF7UDシリーズ

・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

設置の手順

付属品を確認します。
（1 ページ）

本取扱説明書に書かれている安全上のご注意、使用上のお願いをよく読みます。
（3 ～ 14 ページ）

現在の日付と時間を設定します。
（36、39 ページ）

各モードの操作方法をよく読みます。
（15 ～ 41 ページ）

各モードで再生します。

付属品の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

□GHV-DF7UD 本体	1 台	□専用ACアダプタ	1 個
□専用リモコン	1 個	□リモコン用ボタン電池	1 個
□USB miniBケーブル（約100cm）	1 本	型番：CR2025 (3V)	
□スロットカバー（ネジ付）	1 個	□ドライバ CD-ROM	1 枚
□ 1 年間保証書	1 部	□取扱説明書（本書）	1 部

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（もし異常が起こったら）

プラグを抜く

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社テクニカルサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●専用ＡＣアダプタのコードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源スイッチをオフにし、コードや電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

⚠警告

電源について

100V以外禁止

●専用ACアダプタを必ず交流100ボルト(50/60Hz)のコンセントに接続する

交流１００ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

プラグを抜く

●専用ＡＣアダプタの１００Ｖ入力端子および端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。

禁止

●専用ACアダプタのコードの上に重いものをのせない

コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

●専用ACアダプタのコードは

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など)、販売店または弊社テクニカルサポートに交換をご依頼ください。

設置について

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本製品が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本製品は屋内専用に設計されております。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

●修理・改造・分解はしない

本製品のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社テクニカルサポートにご依頼ください。

●ぬれた手で専用ACアダプタの電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

●異物を挿入しない

各メモリカードのスロットや通風孔から、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら製品本体や専用ACアダプタに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

設置について

必ず行う

●専用ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●専用ＡＣアダプタの電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●専用ACアダプタの電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

●専用ACアダプタの電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

プラグを抜く

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

使用について

禁止

●長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

注意

●本製品に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

●音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

プラグを抜く

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

リモコン用の電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

●電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池を取出す

電池から液がもれて火災·けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●定期的に通風孔や各メモリカードのスロットなどのほこりを取り除いてください

ほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

注意

●お手入れの際は安全のために、専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

衝撃や振動を与えない

●本製品に衝撃や強い振動を与えたり、叩いたりしないでください。

動作中に専用ACアダプタなどを絶対に抜かない

●動作中に専用ACアダプタの電源コードを外してしまうと本製品が故障したり、メモリカード(SDメモリーカード等)を破損したりする恐れがあります。本製品の動作中には専用AC アダプタを外さないでください。外す前には必ず電源をオフにしてください。

設置場所についてのご注意

●本製品は水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所では使わないでください。故障の原因となります。
●本製品を設置する場所は、本製品の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本製品が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本製品を設置しないでください。ビデオデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置いた場合、本製品を使用中に画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所は避けてください。
・直射日光のあたるところ
・湿気の多いところや風通しの悪いところ
・極端に暑いところや寒いところ、急激な温度変化のある場所
・振動のあるところ
・ほこりの多いところ
・油煙、蒸気、熱などがあたるところ（台所など）

上に物をのせない

●本製品の上に物をのせないでください。

本製品を移動する場合のご注意

●本製品を移動したり梱包したりする場合は、必ずメモリカードのスロットにほこりが入らないようにしてください。また各スロットに対応メモリカードを入れたまま移動しますと、故障の原因となる場合があります。

使わないときは電源を切っておく

●各スロットから対応メモリカードを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

●長時間使用しないときは、専用 AC アダプタの電源プラグを抜いてください。

●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本製品の電源を入れたままテレビやラジオに近づけると、画面にしま模様がでたり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本製品の電源を切ってください。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、専用 AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

結露は対応メモリカードや本製品を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本製品を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本製品を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本製品は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本製品の専用 AC アダプタの電源コードを抜いた状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本製品に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本製品の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。
・本製品を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
・夏季に冷房のきいた部屋や車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきやすい環境でのご使用はお控えください。
・結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、本製品を構成する部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

クラスＢ情報技術装置

この装置は，クラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

対応メモリカードについて

メモリカードの対応

本製品で対応しているメモリカードは次のものがあります。

・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・メモリースティック
・USBフラッシュメモリ

●全ての「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」の動作保証をするものではありません。
●MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
●SD ロゴ、SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

メモリカードのお手入れについて

●各メモリカードの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。メモリカードを傷める原因となります。

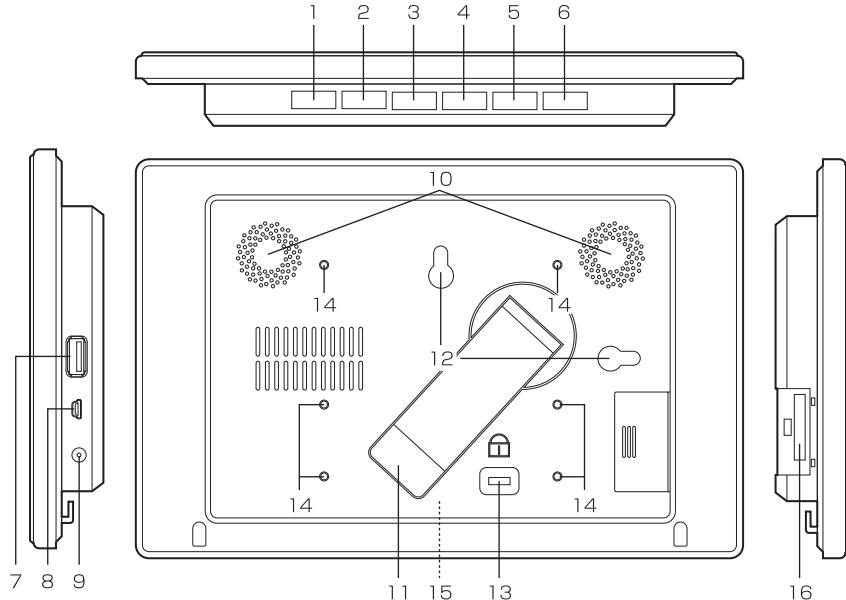
メモリカードの保管について

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●各メモリカードは必ず専用ケースに入れて保管してください。
●各メモリカードに付属していている注意書は必ずお読みください。

本製品で各メモリカードを使用する前に

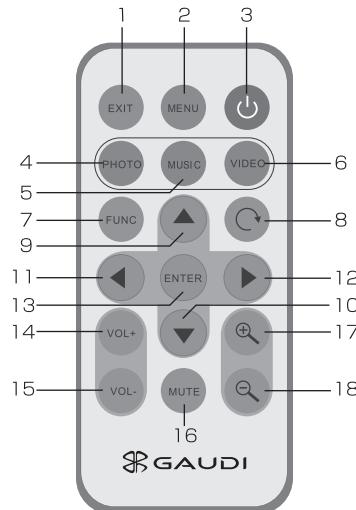
●各メモリカードを使用する前にデータのバックアップを他のメモリカードに取ってください。
●弊社ではメモリカードのデータ消失等に関して一切の責任を負いません。

再生できるファイル

本製品で再生できるファイル形式は以下の通りになります。

画　　像　JPEG / BMP
音　　楽　MP3 / WMA
ムービー　MPEG1 / MPEG2 / M-JPEG(MOV/AVI) / 3GP

●対応形式であっても、全てのファイル再生を保証するものではありません。

著作権について

●テレビ、インターネット、CD などから録画･録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
●デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。

本体

背面

1：【電源】ボタン	・・・	電源のオン / オフをします
2：【ESC】ボタン	・・・	エクスプローラ画面内のカーソルを移動します
3：【右】ボタン	・・・	カーソルを右移動、次のファイルに移動します
4：【左】ボタン	・・・	カーソルを左移動、前のファイルに移動します
5：【再生】/【一時停止】ボタン	・・・	写真 / 音楽 / 動画ファイルを再生します
6：【MENU】ボタン	・・・	設定メニューを開きます
7：USB A 端子	・・・	USB フラッシュメモリを挿入します
8：USB miniB 端子	・・・	付属の USB miniB ケーブルでコンピュータと接続します
9：DCジャック	・・・	付属の AC アダプタを接続します
10：スピーカー	・・・	音声を出力します
11：スタンド	・・・	本製品を立てかける際に伸ばして使用します
12：壁掛け穴	・・・	本製品を壁に掛ける際に使用します
13：盗難防止ホール	・・・	セキュリティワイヤーが取り付けできます
14：ネジ穴	・・・	ラックなどに固定する際に使用します「M3×(P0.35)×5mm（ISO 規格)」
15：リモコン受光部（前面）	・・・	リモコンからの操作を受信します
16：SD/MS カードスロット	・・・	SD メモリーカード、メモリースティックを挿入します（スロットカバー付き）

リモコン

1：【EXIT】	・・・	各動作の終了やエクスプローラ画面のカーソルを移動します
2：【MENU】	・・・	設定メニューを開きます
3：【電源】	・・・	電源のオン/ オフをします
4：【PHOTO】	・・・	スライドショーを再生します
5：【MUSIC】	・・・	音楽を再生します
6：【VIDEO】	・・・	動画を再生します
7：【FUNC】	・・・	画像の選択／非選択をします(エクスプローラ画面の場合)※
8：【回転】	・・・	画像を回転します
9：【上】	・・・	カーソルを上移動します
10：【下】	・・・	カーソルを下移動します
11：【左】	・・・	カーソルを左移動します
12：【右】	・・・	カーソルを右移動します
13：【ENTER】	・・・	項目を決定します
14：【VOL＋】	・・・	音量を上げます
15：【VOL－】	・・・	音量を下げます
16：【MUTE】	・・・	消音にします
17：【拡大】	・・・	画像を拡大表示します
18：【縮小】	・・・	画像を縮小表示します

※動作中のモードや画面によって、動作が異なります。詳しくはP.21「クイックメニューを表示する」、P.24「画像を切り取る」、P.25「効果を使用する」、P.26「音楽ファイルの再生」、P.30「ファイルをコピーする」もしくは、画面下に表示されるヘルプを参照してください。

●本製品には品質保持のため、リモコンに保護フィルムが貼られております。
実際にご使用になる際は、保護フィルムを剥がしてご使用ください。

電源操作

本項目では電源のオン / オフ、スタンバイの操作方法を紹介します。

電源をオンにする

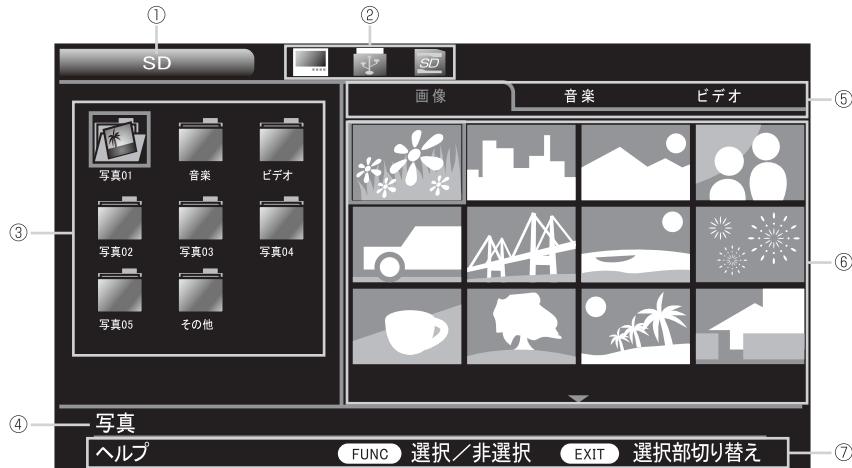
本製品背面の DC ジャックに付属の AC アダプタを接続し、リモコンの【電源】ボタンを押します。
画面に「GAUDI」のロゴが表示された後、エクスプローラ画面が表示されます。

電源をオフにする

本製品の電源がオンの状態からリモコンの【電源】ボタンを押すとスタンバイになります。
電源をオフにするには本製品がスタンバイ状態であることを確認し、DC ジャックを取り外します。

●故障の恐れがありますので、必ずスタンバイ状態であることを確認してから取り外してください。

ショートカットボタン

リモコンの以下のボタンを押すと、動作モードをボタン 1 つで切り替えることができます。

スライドショーを再生します。

音楽を再生します。

動画を再生します。

エクスプローラ画面

「GAUDI」のロゴが表示された後に表示される画面がエクスプローラ画面です。
この画面にはメモリに保存されているファイルの一覧が表示されます。

※上記は「画像」選択時の一例です。

①・・・選択されているメモリの種類が表示されます。

②・・・**「ストレージデバイスアイコン」**

内蔵メモリのデータを読み込みます。

USB フラッシュメモリのデータを読み込みます。

SD メモリーカード / メモリースティックのデータを読み込みます。

③・・・**「フォルダウィンドウ」**

フォルダの一覧が表示されます。選択中のフォルダは黄色で表示されます。
（フォルダ階層ごとの表示ではなく、メモリ内のフォルダをすべて表示します。）

④・・・フォルダ名を表示します。

⑤・・・**「モードタブ」**

「画像」「音楽」「ビデオ」が選択できます。
（例：「画像」を選択した場合、画像ファイルのみ ⑥「メインウィンドウ」に表示されます。）

⑥・・・**「メインウィンドウ」**

再生できるファイルの一覧が表示されます。

⑦・・・**「サブメニュー」**

各項目でサブメニューが表示されます。

●本製品は工場出荷時にサンプル画像ファイルが 10 枚保存されています。(削除可能)

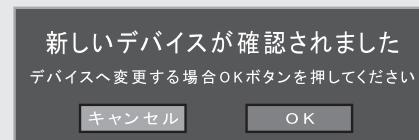
エクスプローラ画面内でカーソルを移動 / 決定する

リモコンの【EXIT】ボタンを押すごとにエクスプローラ画面のカーソル選択項目が
⑥「メインウィンドウ」→②「ストレージデバイスアイコン」→⑤「モードタブ」→③「フォルダウィンドウ」と移動します。

各項目内はリモコンのカーソルボタンで移動し、【ENTER】ボタンで決定します。

読み込みメモリカードの変更

本項目では「内蔵メモリ」「SD メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」の読み込み変更方法を紹介します。

●以降の解説については「SD メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」「内蔵メモリ」をメモリと表記いたしますので、置き換えてお読みください。

ケース 1（エクスプローラ画面上でメモリを選択する）

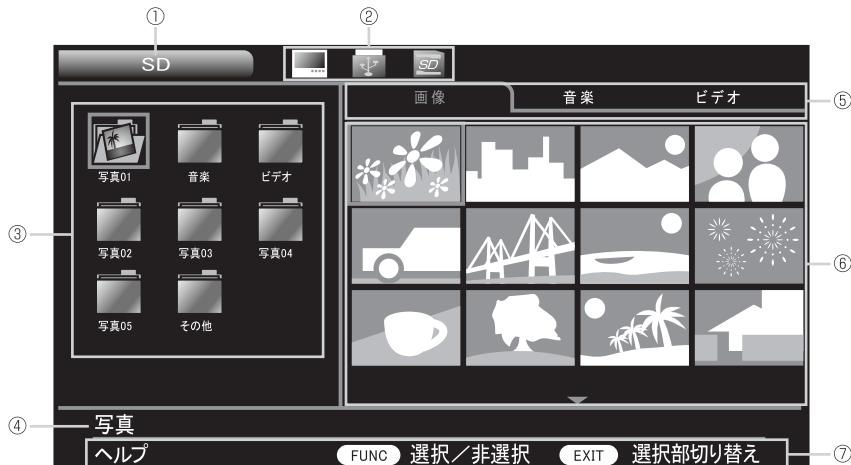
エクスプローラ画面の②「ストレージアイコン」にカーソルを合わせ、【左】/【右】ボタンで読み込みたいメモリを選択して【ENTER】ボタンを押してください。

ケース 2（ポップアップウィンドウよりメモリを選択する）

電源がオンの状態でメモリを挿入すると以下のメッセージが表示されます。そのまま読み込む場合は「OK」を選択してください。

新しいデバイスが確認されました

デバイスへ変更する場合OKボタンを押してください

キャンセル　　OK

「PHOTO」モード（基本操作方法）

本項目では「PHOTO」モードの基本操作方法を紹介します。

スライドショーを再生する

スライドショーを再生するには「エクスプローラ画面」(P.18) で以下の通り操作を行ってください。

Step.1

⑤「モードタブ」で「画像」を選択し【ENTER】ボタンを押します。

Step.2

【EXIT】ボタンを押します。（③「フォルダウィンドウ」に選択項目が移動します。）

Step.3

③「フォルダウィンドウ」でフォルダを選択し、【ENTER】ボタンを押します。（⑥「メインウィンドウ」に選択項目が移動します。）

Step.4

⑥「メインウィンドウ」でファイルを選択し【ENTER】ボタンを押すとスライドショーが開始されます。
エクスプローラ画面に戻るには【EXIT】ボタンを押してください。

スライドショー再生の画像ファイルを移動する

  スライドショー再生中にリモコンの【右】/【下】ボタンを押すと次の画像が表示されます。

  スライドショー再生中にリモコンの【左】/【上】ボタンを押すと前の画像が表示されます。

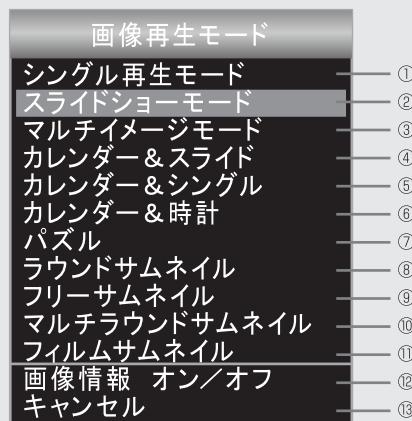
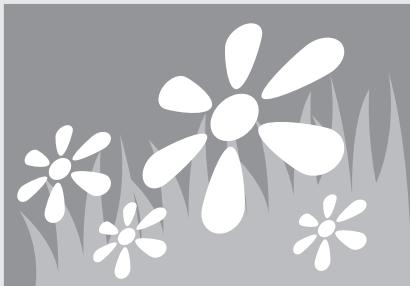
スライドショー再生を一時停止する

スライドショー再生中にリモコンの【ENTER】ボタンを押すと一時停止します。
再開するには、もう一度【ENTER】ボタンを押します。

画像を拡大表示する

スライドショー再生中にリモコン【拡大】ボタンを押すと画像が拡大表示されます。拡大率は【拡大】ボタンを押すごとに「x4」「x16」「x64」が選択できます。【縮小】ボタンを押すと、拡大表示が逆順に戻ります。
※画像の縮尺表示 (1/2 や 1/4) はできません。

拡大表示中にリモコンの【FUNC】ボタンを押し、カーソルボタンで表示位置を移動できます。
拡大 / 縮小の動作に戻るには、もう一度【FUNC】ボタンを押してください。
スライドショー再生に戻るには【EXIT】ボタンを押した後に「クイックメニューを使用する」（P.21）をご覧ください。

画像を回転する

スライドショー再生中にリモコンの【回転】ボタンを押すごとに時計回りに 90 度ずつ画像が回転します。
画像が回転するとスライドショー再生は停止します。
スライドショー再生に戻るには【EXIT】ボタンを押した後に「クイックメニューを使用する」（P.21）をご覧ください。

クイックメニューを使用する

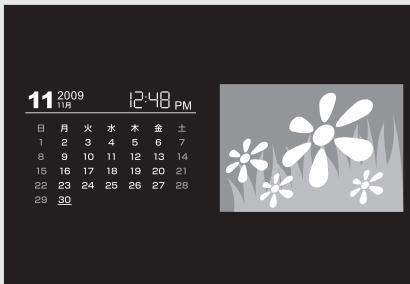
スライドショー再生中にリモコンの【FUNC】ボタンを押すとクイックメニューが表示されます。機能は以下の通りです。

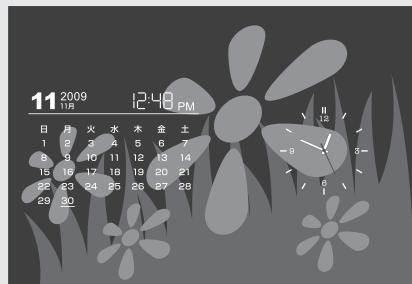
①シングル再生モード

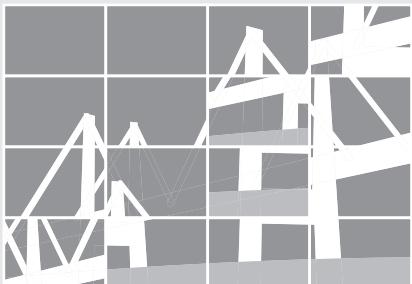
1 枚の画像を表示し続けます。

②スライドショーモード

画像を順番にスライドショー再生します。

③マルチイメージモード

3 枚の画像をフェード効果を利用して対角上にスライドショー再生します。

④カレンダー & スライド

カレンダー表示と②スライドショーモードを組み合わせて表示します。

⑤カレンダー & シングル

カレンダー表示と①シングル再生モードを組み合わせて表示します。

⑥カレンダー & 時計

カレンダー表示と時計表示の背景に①シングル再生モードを組み合わせて表示します。

⑦パズル

画面が 12 分割され、パズルゲームが楽しめます。

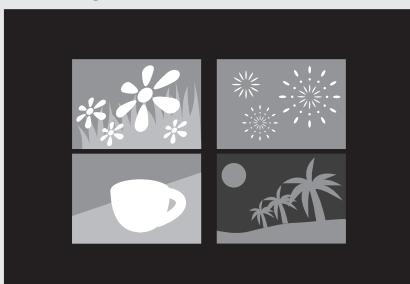
■操作方法

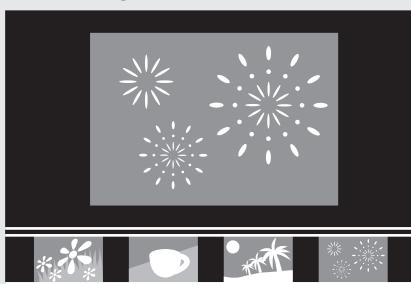
Step.1　移動元のコマを選択します。

Step.2　移動先のコマを選択します。
選択したコマが入れ替わります。

Step.3　上記操作を繰り返して画像を完成させてください。
完成すると次の画像が表示されます。

※移動はリモコンのカーソルボタン、選択は【ENTER】ボタンを使用します。

⑧ラウンドサムネイル

4 枚の画像が上下左右から中央に向かってスライドショー再生します。

⑨フリーサムネイル

4 枚の画像が画面を回りながらスライドショー再生します。

⑩マルチラウンドサムネイル

4 枚の画像がフェード効果を利用してスライドショー再生します。

⑪フィルムサムネイル

フイルムをスライドするようにスライドショー再生します。

⑫画像情報 オン / オフ

Exif 情報が画面の下に表示されます。

⑬キャンセル

クイックメニューを閉じます。

●上記画像の各スライドショー効果と表示方法は一例になり、メモリに保存されている画像ファイルやフォルダ構成により異なります。

「PHOTO」モード（応用操作方法）

本項目では「PHOTO」モードの応用操作方法を紹介します。

画像に効果とフレームを使用する

画像の色調を変更したり、フレームを付けられます。

Step.1

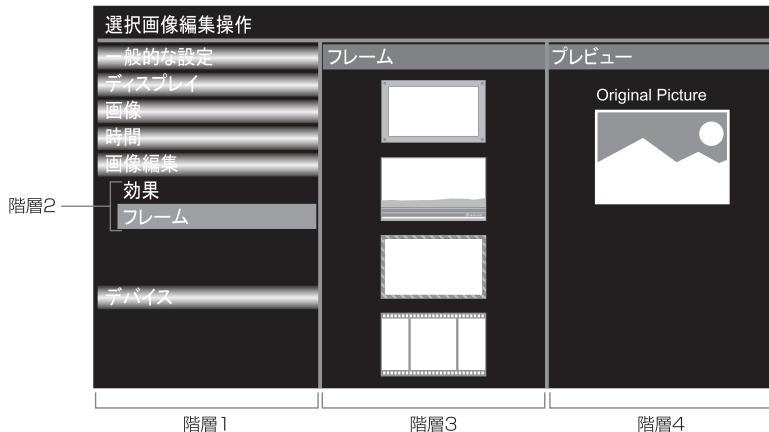
「エクスプローラ画面」(P.18) で画像ファイルを選択して【ENTER】ボタンを押します。

Step.2

【MENU】ボタンを押して【下】ボタンを 2 回押します。
（以下のような画面が表示されます。）
表示された画面の移動 / 決定については「設定」（P.36）を合わせてご覧ください。

■「効果」を使用する（Step.2 より続きます）

Step.3

階層 3 より画像効果を選択し【ENTER】ボタンを押すと階層 4 にプレビュー表示されます。

Step.4

【FUNC】ボタンを押し、「OK」を選択すると効果が適用されます。
効果を無効にするには Step.3 で「効果無し」を選択して同様に操作してください。

●「効果」を適用した場合、表示方法の変更のみになり、ファイルは上書きされません。

■「フレーム」を使用する（Step.2 より続きます）

Step.3

階層 3 よりフレームを選択し【ENTER】ボタンを押すとフルスクリーン表示されます。

Step.4

フルスクリーン状態で【FUNC】ボタンを押し、「OK」を選択すると効果が適用されます。

●「フレーム」を適用した場合、フレームを適用したファイルのコピーが作成されます。

「MUSIC」モード（操作方法）

本項目では「MUSIC」モードの操作方法を紹介します。

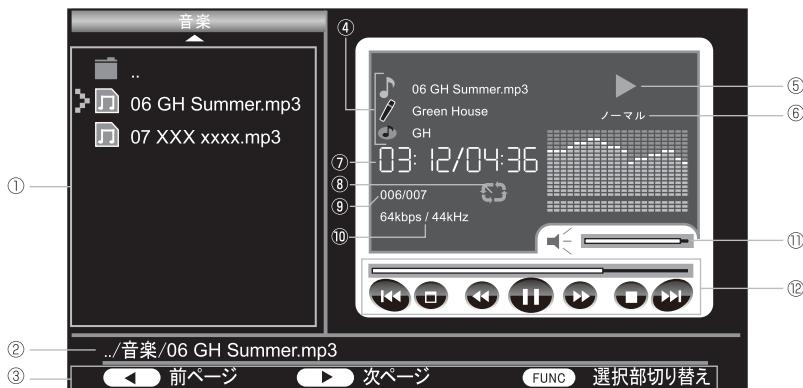
音楽ファイルの一覧表示 / 再生する

「エクスプローラ画面」(P.18) で以下の通り操作を行ってください。

Step.1

⑤「モードタブ」で「音楽」を選択し【ENTER】ボタンを押します。
(⑥「メインウィンドウ」が再生できる音楽ファイルの一覧表示に切り替わります。)

Step.2

フォルダを選択し、⑥「メインウィンドウ」に移動します。

Step.3

【上】/【下】ボタンで再生したい音楽ファイルを選択します。

Step.4

【ENTER】ボタンを押すと音楽再生が開始され、画面が次項の通り切り替わります。

音楽ファイル再生画面

①・・・**「フォルダウィンドウ」**
フォルダと音楽ファイルの一覧が表示されます。再生中の音楽ファイルは「>」マークが表示され、カーソルで選択中のファイルは緑色に変わります。

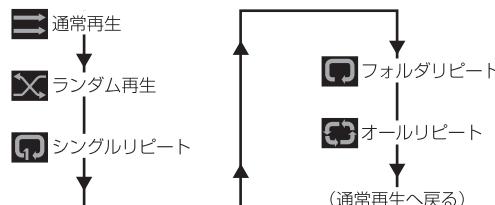
②・・・フォルダ名と再生中のファイル名が表示されます。

③・・・**「サブメニュー」**

使用できるサブメニューが表示されます。詳しくは下記を参照してください。

FUNC 選択部切り替え	【FUNC】ボタンを押すと、表示されるサブメニューと操作できる箇所が交互に切り替わります。
	フォルダウィンドウの操作ができます。（項目①参照）
◀ 前ページ	リモコンの【左】ボタンを押すと①「フォルダウィンドウ」が前ページに戻ります。
▶ 次ページ	リモコンの【右】ボタンを押すと①「フォルダウィンドウ」が次ページに進みます。
	プレイヤーの操作ができます。（項目⑫参照）
▲ リピートモード	リモコンの【上】ボタンを押すとリピートモードの切り替えができます。（項目⑧参照）
▼ EQ	リモコンの【下】ボタンを押すとイコライザの切り替えができます。（項目⑥参照）

④・・・音楽ファイルに記録されたタグ情報を表示します。

上から順に「ファイル名」「アーティスト名」「アルバム名」が表示されます。

⑤・・・再生状況が表示されます。

⑥・・・イコライザの種類が表示され、以下を選択できます。

「ノーマル」「ロック」「クラシック」「ジャズ」「ポップス」「スタジオ」「バラード」「クラブ」「R&B」「ダンス」

⑦・・・「経過時間 / 再生時間」が表示されます。

⑧・・・リピートモードが表示されます。

⑨・・・「再生中のファイル番号 / フォルダ内のファイル数」が表示されます。

⑩・・・「ビットレート / サンプルレート」が表示されます。

⑪・・・リモコンの【VOL+】/【VOL−】で音量が 0 ～ 15 の範囲で調節できます。

⑫・・・音楽再生を以下の通りコントロールできます。リモコンの【FUNC】ボタンを押すと項目①「フォルダウィンドウ」から項目⑫へカーソルが移動します。【左】/【右】ボタンで選択し、【ENTER】ボタンで実行します。

⏮	前の曲に移動します。
⬜	音楽モードでは使用しません。（ビデオファイルをフルスクリーン表示します。）
⏪	早戻し再生します。（ボタンを押すごとに速さを 5 段階で選択できます。）
⏸ ▶	一時停止 / 再生します。
⏩	早送り再生します。（ボタンを押すごとに速さを 5 段階で選択できます。）
⏹	再生を停止します。
⏭	次の曲に移動します。

「VIDEO」モード（操作方法）

本項目では「VIDEO」モードの操作方法を紹介します。

ビデオファイルの一覧表示 / 再生する

「エクスプローラ画面」(P.18) で以下の通り操作を行ってください。

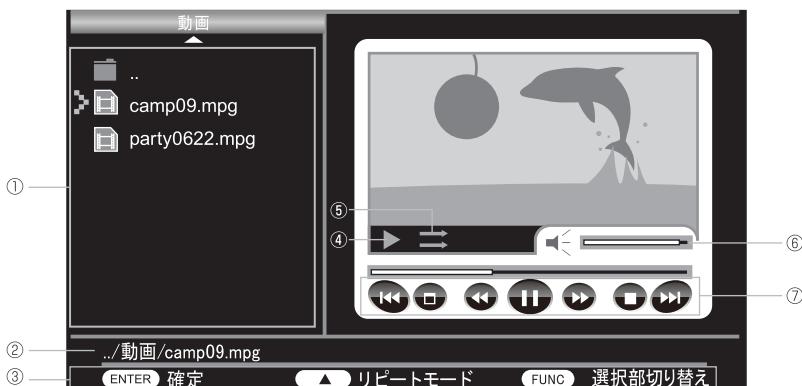
Step.1

⑤「モードタブ」で「ビデオ」を選択し【ENTER】ボタンを押します。

Step.2

フォルダを選択し、⑥「メインウィンドウ」に移動します。

Step.3

【上】/【下】ボタンで再生したいビデオファイルを選択します。

Step.4

【ENTER】ボタンを押すとビデオ再生がフルスクリーンで開始されます。

ビデオファイル再生画面

フルスクリーンでビデオファイル再生中にリモコンの【EXIT】ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

①・・・**「フォルダウィンドウ」**
フォルダとビデオファイルの一覧が表示されます。再生中のファイルは「>」マークが表示され、カーソルで選択中のファイルは緑色に変わります。

②・・・フォルダ名と再生中のファイル名が表示されます。

③・・・**「サブメニュー」**

使用できるサブメニューが表示されます。詳しくは下記を参照してください。

FUNC 選択部切り替え【FUNC】ボタンを押すと、表示されるサブメニューと操作できる箇所が交互に切り替わります。

フォルダウィンドウの操作ができます。(項目①参照)

◀ 前ページ　リモコンの【左】ボタンを押すと①「フォルダウィンドウ」が前ページに戻ります。

▶ 次ページ　リモコンの【右】ボタンを押すと①「フォルダウィンドウ」が次ページに進みます。

プレイヤーの操作ができます。(項目⑦参照)

ENTER 確定　リモコンの【ENTER】ボタンを押す項目⑦の各動作が行えます。

▲ リピートモード　リモコンの【上】ボタンを押すとリピートモードの切り替えができます。(項目⑤参照)

④・・・再生状況が表示されます。

⑤・・・リピートモードが表示されます。(P.27 の項目⑧と同様になります。)

⑥・・・リモコンの【VOL＋】/【VOL－】で音量が 0 ～ 15 の範囲で調節できます。

⑦・・・P.27 の項目⑫と同様になります。

ファイル操作方法

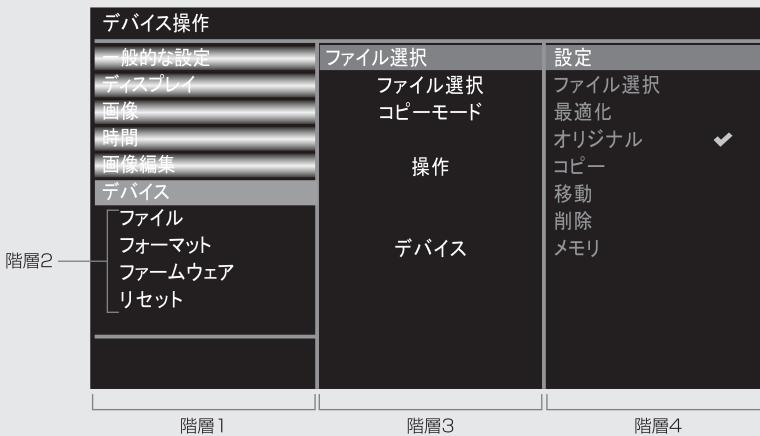
本項目ではファイル操作方法を紹介します。
内蔵メモリへコピー、移動、削除、フォーマットができます。

ファイルをコピーする

本項目では SD メモリーカード、メモリースティックに保存されている画像ファイルを本製品の内蔵メモリにコピーする場合の操作方法を一例で紹介します。

Step.1

「読み込みメモリカードの変更」（P.19）の操作を行い、読み込み元を SD メモリーカードに変更します。

Step.2

「エクスプローラ画面」（P.18）の⑥「メインウィンドウ」でファイルを選択し、【FUNC】ボタンを押します。
（選択したファイルの右上に ✔ マークが入ります。）

Step.3

【MENU】ボタンを押すと以下の画面が開きます。
表示された画面の移動 / 決定方法は「設定」（P.36）を合わせてご覧ください。

Step.4

階層 2 で「ファイル」→階層 3 で「操作」→階層 4 で「コピー」と選択し、【ENTER】ボタンを押してください。
（黄色いカーソルが階層 3 の「デバイス」へ移動します。）

Step.5

【ENTER】ボタンを押すと階層 4 へ移動しますので「メモリ」を選択して【ENTER】ボタンを押してください。

Step.6

右図のフォルダが表示されるので、「PHOTO」を選択して【ENTER】ボタンを押してください。

Step.7

「操作を開始しますか？」と表示され、「OK」を選択するとコピーが開始されます。

■ファイルを移動する（Step.3 より続きます）

Step.4 の階層 4 で「移動」を選択し、同様に Step.7 まで操作を行ってください。

■ファイルを削除する（Step.3 より続きます）

Step.4 の階層 4 で「削除」を選択すると「選択ファイルを削除しますか？」と表示され、「OK」を選択すると削除されます。

■画像ファイルを変換する（Step.3 より続きます）

内蔵メモリに画像ファイルをコピーする際のモードを選択できます。

Step.3 より

Step.4

階層 3 で「コピーモード」を選択すると階層 4 で以下の通り選択できます。

最適化　・・・　画像ファイルの解像度をモニタに表示するのに最適な解像度に変換します。

オリジナル・・・　画像ファイルを変換せずにコピーします。

- ●ファイルの「移動」「削除」は内蔵メモリ内において、有効になります。
- ●「最適化」は内蔵メモリに「コピー」する場合に有効になります。
- ●最適化後の解像度は、画像ファイルによって異なります。

マスストレージモード

本項目では本製品をコンピュータと接続した際の機能を紹介します。

USB ケーブルでコンピュータと接続する

USB ケーブルで接続する前に本製品の電源をオフにしてください。

Step.1

本製品(USB miniB端子) を付属の USB ケーブルでコンピュータと接続し、電源をオンにすると右の画面が表示されます。

PCと接続中(USBポート)
メモリデバイス
サブモニタ

Step.2

「メモリデバイス」を選択して【ENTER】ボタンを押してください。

Step.3

本製品の画面に「PC と接続中」と表示されます。コンピュータの画面には初回接続時のみデバイスドライバのインストール画面が表示されるので、しばらくお待ちください。(OS 標準のデバイスドライバが自動的にインストールされます。)

Step.4

内蔵メモリがコンピュータ上にリムーバブルディスクとして認識されます。(SD/MSカードスロットもリムーバブルディスクとして認識します。)

Step.5

コンピュータ上より内蔵メモリにファイルをコピー、または削除できます。

●ファイルをコピーする前に必ずデータのバックアップをお取りください。
●リムーバブル接続中は本製品の操作はできません。
●USB フラッシュメモリはリムーバブルディスクとして認識できません。

コンピュータから取り外す

リムーバブルディスクとして認識した本製品をコンピュータから取り外すには以下の手順で行います。(本書は Windows XP で「H」/「I」ドライブとして認識した例で解説します。)

Step.1

マイコンピュータを開き、リムーバブルディスクとして接続しているドライブ名を確認します。

Step.2

コンピュータのタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックすると右のメニューが表示されますので、「Step.1」で確認したドライブ名と同じであることを確認してクリックしてください。

Step.3

右のメッセージが表示されましたら、本製品の電源をオフにし、USB ケーブルを取り外してください。

USB サブディスプレイモード

本項目では本製品をコンピュータに USB サブディスプレイとして接続した時の機能を紹介します。

コンピュータにドライバをインストールする

本製品を USB サブディスプレイとして使用するにはコンピュータにドライバをインストールする必要があります。ドライバをインストールする前に本製品は接続しないでください。解説は Windows XP の例になります。

Step.1

コンピュータの CD-ROM ドライブに付属のドライバ CD を挿入します。

Step.2

「Driver」フォルダを開き、インストーラーファイルを実行します。

Step.3

「次へ」→「(この使用承諾契約書を承認します)→「次へ」→「次へ」→「インストール」と選択します。

Step.4

「ソフトウェアのインストール」画面が2回表示されますので2回とも「続行」を選択します。

Step.5

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が別途表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」→「次へ」と選択し、「ソフトウェアを自動的にインストールする」→「次へ」と選択します。

Step.6

「ハードウェアのインストール」画面が表示されますので「続行」を選択し「完了」を選択します。

Step.7

最後に表示された画面で「今すぐコンピュータを再起動します。」→「完了」と選択すると再起動されます。

コンピュータと接続する

USB ケーブルで接続する前に本製品の電源をオフにしてください。

Step.1

本製品を付属の USB ケーブルでコンピュータと接続し、電源をオンにすると以下の画面が表示されます。

Step.2

「サブモニタ」を選択して【ENTER】ボタンを押してください。

PCと接続中(USBポート)
メモリデバイス
サブモニタ

Step.3

「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」画面が別途表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」→「次へ」と選択し、「ソフトウェアを自動的にインストールする」→「次へ」と選択します。

Step.4

「ハードウェアのインストール」画面が表示されますので「続行」を選択し「完了」を選択します。

●解説は例になり、実際の画面と異なる場合がありますので画面の指示に従ってください。

USB サブディスプレイ機能

タスクトレイに常駐したアイコンを右クリックすると以下の通りメニューが開きます。

Windows 7 の場合　　Windows Vista/XP の場合

① メモリデバイス
② サブモニタ
③ 回転
④ 明るさ
⑤ 位置調整
⑥ 言語
⑦ 情報
⑧ 終了

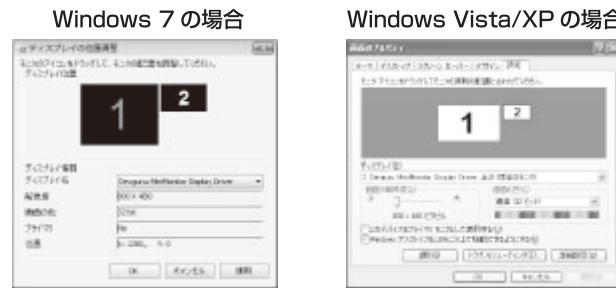
■ ① メモリデバイス

「マスストレージモード」（P.32）に移行します。USB サブディスプレイ機能は無効になります。

■ ② サブモニタ

「USB サブディスプレイモード」に移行します。マスストレージ機能は無効になります。

■ ③ 回転

本製品の表示する向きを以下の通り選択できます。

■ ④ 明るさ

本製品の画面の明るさを 1 ～ 5 段階で調整します。

■ ⑤ 位置調整

本製品の表示位置を調整します。
Windows Vista/XP の場合は、デスクトップで右クリックし、「画面のプロパティ」を開き、「設定」をクリックしてください。
表示位置を調整する場合は、本製品のアイコンをマウスでドラッグして変更します。

Windows 7 の場合

Windows Vista/XP の場合

■ ⑥ 言語

「Chinese」「English」「Japanese」「Korean」が選択できます。

■ ⑦ 情報

ドライババージョンが表示されます。

■ ⑧ 終了

タスクトレイに常駐しているアプリケーションを終了します。本製品は USB マスストレージモードへ移行します。

コンピュータからドライバをアンインストールする

Step.1

タスクトレイに常駐しているアプリケーションを終了してください。

Step.2

「プログラムの追加と削除」より「Mini Monitor」を選択し、「変更と削除」をクリックしてください。

Step.3

表示された画面で「削除」をクリックし、「はい」を選択してください。

Step.4

最後に表示された画面で「今すぐコンピュータを再起動します」→「完了」と選択すると再起動されます。

●コンピュータによって、処理が遅くなる場合がありますがしばらくお待ちください。

設定

本項目では本製品の設定画面の操作方法を紹介します。
エクスプローラ画面でリモコンの【MENU】ボタンを押すと以下のような設定画面が表示されます。

操作方法

■階層移動する（階層 1 から階層 2 へ）

階層 1 の項目①～⑥にカーソルを合わせると階層 2 が自動表示され、【ENTER】ボタンを押すと階層 2 へ移動します。

■階層移動する（階層 2 から階層 3/4 へ）

階層 2 より【ENTER】ボタンを押すと階層 3 へ移動します。
同様に操作を行うと階層 4 へ移動します。

■確定する / 前の階層へ戻る

設定したい項目にカーソルを合わせて【ENTER】ボタンを押すと、設定が確定します。
前の階層へ戻る場合は【EXIT】ボタンを押してください。

① 一般的な設定

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
一般的な設定	言語	OSD	英語	①
			日本語	
	電源オン	電源オン時表示	デフォルト	②
			カレンダー	
			画像	
			音楽	
			ビデオ	
	ボタン操作音	ボタン操作音	オフ	③
			効果音 1	
			効果音 2	
			効果音 3	
	動画	ディスプレイモード	フルスクリーン	④
			オートスケール	
	バージョン	Firmware：XXXXX		⑤
		内蔵メモリ：		⑥
		空き容量：		

①　・・・　OSD 言語を選択できます。

②　・・・　電源オン時の表示を選択できます。

③　・・・　ボタン操作音を選択できます。

④　・・・　動画再生時の画面表示を選択できます。（動画ファイルによっては有効にならない場合があります。）

⑤　・・・　※管理用となります。通常は使用しません。

⑥　・・・　内蔵メモリ / 各メモリカードの空き容量が表示されます。

② ディスプレイ

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
ディスプレイ	LCD 設定	明るさ	0 ～ 10	①
		コントラスト	0 ～ 10	
		色	0 ～ 10	
		バックライト	0 ～ 10	

①　・・・　本製品の画面調節ができます。

③　画像

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
画像	一般的な設定	スライド間隔	3 秒	①
			5 秒	
			10 秒	
		BGM	オフ	②
			オン	
		ディスプレイモード	アスペクト比固定	③
			画像フィット	
			幅フィット	
			高さフィット	
		スライドの順番	ノーマル	④
			ランダム	
	スライド効果	スライド効果	オフ	⑤
			ランダム	
			スライド	
			ドア	
			シャッター	
			モザイク	
			クロス	
			コーナー	
			渦巻き	
			ディゾルブ	
			ロール	
	エクスプローラ	レイアウト	4×4 フレーム	⑥
			5×5 フレーム	

①　・・・　スライドショー再生の切り替わる間隔を選択できます。

②　・・・　スライドショー再生中に音楽再生を行うか選択できます。

③　・・・　画像の表示方法を選択できます。（画像ファイルによっては有効にならない場合があります。）

④　・・・　スライドショーの順番を選択できます。

⑤　・・・　スライドショー効果を選択できます。

⑥　・・・　エクスプローラ画面のサムネイル表示の方法を選択できます。

④　時間

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
時間	日付＆時間	年 - 月 - 日	2009-11-24	①
		時間	12：00　PM	②
		時間表示モード	12 時間	③
			24 時間	
	自動パワーオン	リピート	無効にする	④
			1 日	
			毎日	
			平日	
			週末	
		パワーオン時間	12：00　AM	⑤
		パワーオフ時間	12：00　AM	⑥
	アラーム	リピート	無効にする	⑦
			1 日	
			毎日	
			平日	
			週末	
		時間設定	12：00　AM	⑧
		効果音	効果音 1	⑨
			効果音 2	
			効果音 3	
			効果音 4	

①　・・・　現在の「年」「月」「日」を設定します。

②　・・・　現在の時刻を設定します。

③　・・・　時間表示モードを選択できます。

④　・・・　本製品の電源が自動的にオンになる周期を設定します。

⑤　・・・　電源が自動的にオンになる時間を設定します。

⑥　・・・　電源が自動的にオフになる時間を設定します。

⑦　・・・　アラームが鳴る周期を設定します。

⑧　・・・　アラームが鳴る時間を設定します。

⑨　・・・　アラームの効果音を設定します。

⑤　画像編集

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
画像編集	効果	白黒		①
		セピア 1		
		セピア 2		
		セピア 3		
		効果無し		
	フレーム			②

①　・・・　画像ファイルの色合いが選択できます。

②　・・・　画像ファイルにフレームの飾りつけができます。

※画像ファイルの編集方法については「PHOTO」モード（応用操作方法）(P.24) をご覧ください。

⑥　デバイス

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	解説
デバイス	ファイル	ファイル選択	ファイル選択	①
		コピーモード	最適化	②
			オリジナル	
		操作	コピー	③
			移動	
			削除	
		デバイス	メモリ	④
	フォーマット	フォーマット	メモリ	⑤
	ファームウェア	ファームウェア種別	ファームウェア	⑥
			システムファイル	
			全て	
		デバイス選択	USB	⑦
			SD/MS	
	リセット	リセット	リセット	⑧

①　・・・　エクスプローラ画面に戻ります。リモコンの【FUNC】ボタンを押すと で選択できます。

②　・・・　内蔵メモリに画像ファイルをコピーする際の画像解像度を調整します。

③　・・・　ファイルの移動方法を選択します。

④　・・・　内蔵メモリにファイルコピーする際に使用します。

⑤　・・・　内蔵メモリをフォーマットします。

⑥　・・・　# 管理用となります。通常は使用しません。

⑦　・・・　# 管理用となります。通常は使用しません。

⑧　・・・　本製品の設定を工場出荷値に戻します。

※ファイルコピーの操作方法については「ファイル操作」（P.30）をご覧ください。

故障かな？と思ったら

動作が停止する	●ボタンを連打すると処理が異常となり停止する場合があります。 停止した場合はACアダプタを本体から取り外して、電源を入れなおしてください。
電源が入らない	●ACアダプタのプラグがコンセントへしっかりと差し込まれているか確認してください。
リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本製品の受信部に向けて操作してください。 ●リモコンと受信部の間の障害物を取り除いてください。
映像が映らない	●リモコンを操作して電源を入れたことを確認してください。 ●本製品で対応しているメモリカードとファイル形式か確認してください。
音声が出ない	●音量レベルを確認してください。 ●消音になっていないか確認してください。 ●本製品で対応しているメモリカードとファイル形式か確認してください。
再生できない	●本製品で再生できるメモリカードか確認してください。 ●メモリカードが汚れていないか確認してください。 よごれている場合は、きれいにふいてください。 ●メモリカードが正しく本体にセットされているか確認してください。 ●メモリカードに記録されているファイルが本製品で再生できるものか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、本体内部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。
動画再生の画面比率が合わない	●動画の画面比率が合わない場合、「①一般的な設定 」（P.37）の「動画」→「ディスプレイモード」の項目を変更してください。もし設定を変更しても、画面比率が合わない場合は、別途動画編集ソフトで動画の周囲にクロップ（黒帯）を入れて調整してください。尚、弊社では動画編集はサポート対象外になりますのでご了承ください。

仕様

製品型番	GHV-DF7UD
スクリーン	7インチTFT液晶
解像度	800×480 pixel （15:9）
コントラスト比	500:1
輝度	200cd/㎡
内蔵メモリ	2GB ※容量の一部はシステムで使用されます。
再生可能メモリカード	SD(8MB～2GB)/SDHC(4GB～32GB)/MS(32MB～2GB)/ USB(64MB～8GB)
再生可能フォーマット	画　像：JPEG / BMP 音　楽：MP3 / WMA 動　画：MPEG1 / MPEG2 / M-JPEG(MOV/AVI) / 3GP
対応言語	日本語/英語
対応OS	Windows7 / WindowsVista（SP2） / WindowsXP(SP3/32bit)
電源（ACアダプタ）	入力　：　AC100V 50/60Hz 出力　：　DC5V/2.0A
消費電力	5W（製品本体のみ）
搭載端子	USB入力端子、SD/MSカードスロット
スピーカー	1W＋1W
動作温度範囲	0℃～40℃
動作湿度範囲	5%～85%(ただし結露なきこと)
外形寸法	W 208 × D28 × H 137 (mm)
重量	約415g（本体のみ）
製品構成	・GHV-DF7UD　本体　1台 ・専用ACアダプタ　1個 ・専用リモコン　1個 ・リモコン用ボタン電池「型番：CR2025 (3V)」　1個 ・USBminiBケーブル（約100cm）　1本 ・スロットカバー（ネジ付）　1個 ・ドライバCD-ROM　1枚 ・取扱説明書（本書）　1部 ・1年間保証書　1部

●仕様および本製品のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00　（弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル 4 階

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。
サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。弊社ホームページよりご登録お願い致します。
ご使用上のご質問、お問い合わせは弊社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。
(http://www.green-house.co.jp)

GHV-DF7UDシリーズ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0